

寄稿

「北秋田市への期待」

高校生による
ストレートな思い

特集

北秋田市の誕生にあたり、市内の高校生8人から、「北秋田市への期待」をテーマに、それぞれの率直な思いを綴っていただきましたのでご紹介します。

4町の合併で行政の規模も大きくなり、可能性も広がりますが、一方では、少子高齢化や厳しい財政事情という現実も抱えています。このような現状を高校生の皆さんは、若い感性でしっかりと捉え、期待と提言という形で表現しています。

で表現しています。

特に、大きな関心事である卒業後地元に着定できるかどうか、また、若者と高齢者が生きがいを持って暮らせるまちづくりなどへの期待が大きいです。

なお、寄稿を依頼した時期が合併前であることから、旧町名での表現になっている場合があります。



夢の実現は市民全体の協力で

合川高校2年 奈良 香澄 かすみ

本城(旧森吉町)

新しい市「北秋田市」に期待していることが二つあります。

一つは北秋田市で私たちが働ける企業をもっと増やして欲しいということ。就職難の時代で私たち若者が働く場所が地元になんか少ないのが現状です。今年先輩達は自分の希望が叶えられず、県外に就職を決めた人がいました。このままではますます過疎化が進んでしまいます。

二つ目はそれぞれの町の長所を

取り入れた活力ある市をつくること。欲しいということ。私の住んでいる森吉町はとも縁が多く豊かで温かい町です。森吉山、阿仁川にはぐくまれた豊かな自然を上手く利用してほしいと思います。

希望は役所の人だけでは達成することが出来ません。市民全体が協力しなければ希望は実現しないでしょう。平和な市を目指して頑張っていきたいものです。



新たな期待

合川高校2年 山本 孟紀 たけのり

木戸石(旧合川町)

人口が多くなり広く考えを集め知恵を出し合ってよりよいまちづくりをしましょう。四つの町にはそれぞれの特徴ある豊かな自然があります。そこではぐくまれてきた教育、文化、芸術に目を向け、私たち若者も積極的に市政に参加することが大事だと思っています。

北秋田市は過疎化が確実に進行しています。高齢者家庭の急増、子供の多い家庭での教育費による家計への圧迫等、市にはその対策が迫られ

ています。地域で生活しやすいと思えるまちづくりをしてほしいものです。福祉の面では合川、鷹巣、森吉、阿仁ともにサービスは充実してきているように感じます。さらに老人と障害者にとって安心して暮らせるように病院と施設を密着させるなど、利便性を図ってほしいです。

合川という名前がなくなることはさびしいことですが、早く地理的領域を把握し、今ある財産を大切に市民が協力しあっていきたいです。

安の滝（旧阿仁町地内）



森吉山とニッコウキスゲ
（旧森吉町地内）



変わるごと、変わらないごと

鷹巣農林高校2年 伊藤 聖

（南鷹巣旧鷹巣町）

合併ってなんだろうと思ってた私が、やっとその意味を解りはじめたころです。私が住む鷹巣町も北秋田市になることになりました。

私が北秋田市になることで変わってほしいと考えていることはただひとつです。鷹巣町は「福祉の町」と言われていましたが、北秋田市になることで、市に活力が生まれて、若い労働力を必要とする場所が増えて

ほしいと私は考えています。福祉はこれからの社会、大変重視されていくと思います。福祉の町はそのまま市に受け継がれ、その他に若い人を必要としてほしいです。

北秋田市に変わること、福祉を必要とする人、若い人、すべての人たちにやさしい市になってもらいたいと思います。



若者が定着できる魅力のある市に

鷹巣農林高校1年 佐々木 慶也

（阿仁荒瀬旧阿仁町）

いよいよ4町が合併し、北秋田市が誕生します。私が新しい市に期待することは、地域の若者たちが地元で定着できる魅力のある市です。

4つの町全体では、20年以上も世帯数は変わっていないのに、人口は大幅に減少しているといえます。また、いずれの町も秋田県平均に比べ15歳未満の割合が少なく、65歳以上の割合が多い、少子高齢化の進んでいる地域です。

若者たちが地域に残るためには、

高校生の就職先が地元で確保され、また県外に進学しても卒業後に戻って来て働ける場所がなくてはなりません。高校生は卒業すると当たり前のように都会に向かい、地方の人口はどんどん減少していくというのが現状です。

阿仁町は4町の中でも特に高齢者の割合が多い町です。合併したら若者たちが地元に残りやすい北秋田市になって欲しいと思います。



住み良い北秋田市に

鷹巣高校2年 安部 有里子

増沢(旧合川町)

4月から合川町、森吉町、鷹巣町、阿仁町が合併し、北秋田市ができます。私は合川町に住んでいて、自分の町の名前が消えてしまうのは少し残念に思いますが、その分北秋田市は秋田県の発展に貢献してくれる活発な市になるものだと期待しています。

例えば、現在利用者が減少してきている内陸線は、人々の行動範囲が増え経済的にも回復してくれるのではないかと思います。さらに何年後には鷹

巣町に近隣の高校が合併することも予定されているので、多くの学生達も利用することだと思えます。

その他にも、様々な場面で人と人の交流が増えよりよい北秋田市を目指していくことができるでしょう。

そして、新しい市ができたとしても、それまでの四つの町が良い所をそれぞれいかし誰もが住み良い市になるであろうことを信じています。



今ある伝統を残して

鷹巣高校2年 中村 典幸

今泉(旧鷹巣町)

私は合併し北秋田市になるにあたり期待することは一つあります。私の期待は、近代的でありながらも伝統的なおもかげを残して欲しいと言うことです。これからも時代は生まれ変わり、

生活はコンピューターなどに管理されてより便利になり、街並、建物は私が小さい頃に見た鉄腕アトム、宇宙戦艦ヤマトなどのアニメで見たような世界に近づいていくのかもしれない。そのような

ていくとしても、今ある伝統を残して守り抜いていって欲しい。

今の日本は戦後に飛躍的に成長しG7の仲間入りを果たしました。そのかげで高層ビルがたち並び伝統的な建造物の大半は消えてしまいました。

さらにこれはたくさんの森林が切り開かれたり、大気、水の汚染がありました。私は絶対に北秋田市にはこのような成長はして欲しくないと願っています。



大館能代空港(愛称:あきた北空港)



北欧の杜公園(旧合川町地内)

すいうん
翠雲公園（旧合川町地内）



鷹巣中央公園（旧鷹巣町地内）



生きがいを持てる活気のある市に

米内沢高校2年 松浦 健太

ひらい
平泉 旧森吉町

私が北秋田市へ期待することは、新市が活気ある市で、高齢者が住みやすい市になってほしいということです。

今は、過疎化が進み、若い人が外へと出てしまっています。外を歩くと人は少なく、歩いている人がいてもほとんどが高齢者です。

私は若い人がもっと多くとどまり、

活気のある市になって欲しいと思います。

また、高齢者の割合が高いので、高齢者のための福祉の充実や高齢者の生きがい作りをするなど、高齢者が住みやすい市に、つまり、若い人と高齢者が一人一人生きがいを持ち、市全体が活気のある市になることを期待しています。



福祉施設・サービスの充実を

米内沢高校2年 片岡 唯

あにきち
阿仁吉田（旧阿仁町）

3月22日から、鷹巣町、森吉町、合川町、阿仁町が合併し、「北秋田市」となるにあたって、私が期待することを挙げようと思います。

私が住んでいる阿仁町は、高齢化が最も進んでいる町でもあり、最も高齢者福祉に力を入れていかなければならない町ではないでしょうか。

そのためには、高齢者が安心して老後を暮らせるような市となる事が必要だと思えます。ですから、福祉施

設の充実、サービスの向上を期待します。そうなる事で、若者の職場も増え、若者が定住できる市となって、高齢者と若者が支え合いながら暮らしていけるようになるのではないかと思います。

また、そうなると、少子化も無くなっていくと思うし、人口も増えていくのではないのでしょうか。このように、新しい市「北秋田市」の活性化に期待します。